



DISTRICT 2500 OBIIHIRO ROTARY CLUB

方針 友情と信頼

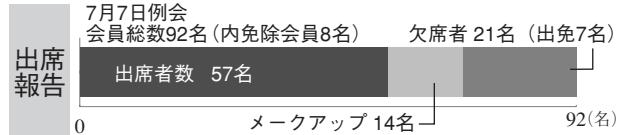
会長 後藤 裕弘

No. 2896

第3214回例会

平成22年7月21日

2010-11年度 国際ロータリーのテーマ
BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS
(地域を育み、大陸をつなぐ)



■ プログラム

「ガバナー補佐公式訪問」

RI第2500地区第6分区ガバナー補佐 畠山 誠一様



こんにちは。帯広RCは初めてでございますが、伝統と歴史あるクラブに訪問させて頂きまして、感謝を申し上げます。柴田ガバナーの補佐としての話をさせていただきます。

ガバナー月信とロータリーの友を読んで頂くと良く判ると思いますが、今年度の2500地区のガバナー地区目標が11項目ございます。その中でボリオ撲滅運動の推進についてです。私が委員長を拝命したわけですが、ボリオの寄付金は強制ではありませんが、特別のご理解を頂きたいと思います。また、柴田ガバナーは小さなクラブをサポートして行きたいという事です。合同例会の開催等では是非サポートをお願いいたします。地区の行事についてですが、インタークトとライラセミナーは今年1年を掛けて見直しを行いますので開催はございません。2500地区大会は10/1(金)～3日(日)まで帯広西RCのスポンサーで開催されますが、小室委員長がヘッドになって各クラブへ挨拶に回る予定ですので、第6分区として特段のご協力をお願い申し上げます。また、会員増強セミナーを開催する予定ですが、日程・会場等が決まりましたらご案内いたします。IMは音更RCがホストとなり、2/27(日)に音更町内にて開催の予定です。世界大会は6月に米国のニューオリンズで開催されますので、こちらの参加もお願いいたします。RC研修委員会を設置できないかという問題についてですが、各クラブの情報委員会でパストガバナーの皆様を講師に迎えるなど勉強会を深めていただきたいということで設置はいたしませんが、会員増強に努めていただきたいと思います。

各クラブに4回訪問するという指針がありますので、後3回訪問させていただきたいと思いますが、私は音更で廃棄物処理の事業をしておりまして、音更町を中心に幕別町、帯広市、芽室町にお世話になっています。これもご縁でございますので、楽しいロータリーでありますことと、会長・幹事を中心により大きな帯広RCとなりますことを祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

「新会員卓話」

森 武夫 プログラム委員長

小山 哲史 会員

私は1955年(昭和30年)4月23日に和歌山県田辺市に生まれました。田辺市と言っても関西ですら認知度がなく、いつも南紀白浜温泉の隣ですと言っておりました。現在の田辺市は平成の大合併で周辺町村を併合し和歌山県南部の大半を占め、県の約1/4の広さになっています。有名なところでは、世界遺産の熊野古道です。因みに人口は私が生まれた頃で7万人弱、大合併後の現在は8万人強ですので、山間部の人口の少ない町村ばかりの併合だったようです。

私は兄、妹の3人兄弟で典型的な次男坊といわれる要領の良さだけ

で大きくなりました。小学校、中学校は市立、県立田辺高校に進学しました。自分で言うのも何ですが、決して頭が悪い方ではなく、むしろ良い方でした。しかし元来からの勉強嫌い、要領の良さで高校を卒業したものですから、大学に進学したい気持ちはいささかもありませんでした。かと言つて地方では就職先も限られますし、また地方出身者が都会でいきなり就職することも難しいので、旅行社に就職して旅行を企画したいと思い観光専門学校を検討することにしました。調べているうちに半年間の海外研修のある学校を見つけました。熱海の国際観光専門学校です。今と違つて1973年(昭和48年)のことですからまだ海外旅行が一般的であったわけではありませんので田舎の高校生に、半年間の海外生活は十分すぎる魅力だったのです。研修期間中の給料は貰えますが、往復の交通費はもちろん自前で、約50万円だったと記憶しています。当時は高度成長時代で毎年のように給料も上がっていましたが、大卒初任給がまだ10万円以下(おそらく数万円程度)の時代です。大学4年間の費用よりも総額では安く上がるといって両親を説得しました。旅行関係の仕事を目指して学校を探していましたが、海外研修がホテル研修ですので、ここで旅行業からホテル業に進路を変更しました。今の私があるのは、この時のホテルでの海外研修の魅力に引っ掛かってしまい、ホテル研修を通じて実務体験したのがきっかけだったのです。

1975年(昭和50年)の2年生の時に半年間スイスのチューリッヒのホテルで研修に参加しました。研修はレストランでのサービスで朝食と夕食を担当していました。母国語を愛するヨーロッパではフランス料理であつてもドイツ語圏でのメニュー表記は当然ドイツ語でした。言葉の問題、食事の問題、それと今では考えられない通信手段の悪さ、遅くて少ない情報、若干20歳の青年には厳しい試練でした。何とか半年間の研修が終了し、集合地のチューリッヒで30名程のメンバーと再会した時には思わず堪えきれないものを感じました。全員で2週間のヨーロッパ周遊を済ませて日本に帰つて来たのが10月半ばでした。ここでまた大問題が起つてしましました。

時は1975年(昭和50年)秋、オイルショック後で翌年の就職が非常に厳しいにも関わらず、帰国したのが10月中旬、当時は就職協定で10月1日が解禁日だったのです。東京の大手ホテルでは既に試験は終了していました。チェーンホテルを持ち、関西では老舗の京都都ホテルへと密かに考えていたのですが、こちらも10月1日に終了していました。学校からの紹介で大阪のロイヤルホテルが11月に試験をするということで受験し合格しました。私たち同期は大卒採用ゼロで、短専卒で男子5名、女子25名程度でした。学校内で関西のホテルを希望する者が少なく比較的ラッキーに就職することができました。今では考えられない就職活動でした。実のところ何もしていないのですから。

1976年(昭和51年)4月よりロイヤルホテルでベルボーイ、フロントを経験しました。入社当時は客室数1,600室で平均滞在日数も東京に比べ短いため、満室にもなるとチェックインの数が1,500を超えることもありました。おそらくチェックインの数だけでは当時日本で一番忙しいホテルだったのではないかでしょうか。社員も1,500人以上いましたので、知らない人も沢山いました。

1982年(昭和57年)9月のホテル日航大阪の開業を前にロイヤルホテルを退職し移りました。ホテル日航大阪は大阪の中心部心斎橋にあ

ります。当時は街の人の流れを変えるくらいのインパクトのあるものでした。南では夕方の待ち合わせは心斎橋のホテル日航大阪のロビーと言われるくらい、お金にはならないお客様が溢っていました。日航大阪でも主にフロントと宿泊予約を経験していますので、所謂宿泊畠の人間です。時としてホテルシステムの更新、リノベーション、ホームページの作成、ネット予約の構築等では宿泊担当責任者として、SEの方々や建築工事関係の方々との協議を通じて色々と勉強させていただきました。

2002年（平成14年）4月のUSJ（ユニバーサルスタジオ）地区でのホテル日航ペイサイド大阪の開業を控え、前年2001年に準備室に出向となり無事開業を果たしましたが、わずか6年足らずで撤退することとなりました。短い期間に開業と閉館を経験してきました。

ホテルに就職して30年強、ずっと大阪に在籍したことになります。そして去年3月、はじめて大阪を離れて単身でこの帯広に着任いたしました。国内どのホテルへの出向も可能ということでしたが、初めての出向が北海道帯広と聞いたときは、私よりは家族の方がびっくりしていました。関西周辺でなければ首都圏くらいを想定していたようです。私はホテル日航大阪の社員で、親会社のJALホテルズに出向し、JALホテルズよりホテル日航ノースランド帯広へ出向派遣されております。業績の厳しいのはチェーンホテルどこも同じです。むしろオーナー会社のJR北海道ホテルズの皆さん、又ホテルスタッフと旨く協調できており、できることであればずっと帯広には残りたいと思っております。前任者神谷の後任として是非長いお付き合いをさせていただければと存じます。どうぞ宜しくお願ひいたします。

■会長報告



後藤 裕弘 会長

前回メイキャップにお越しいただいた小倉南RC 藁田二三男様より、帯広がとても気に入っていますということで、バナーと創立40周年記念誌が届いておりましたので、回覧させていただきます。

さて、17日から昨日まで3泊4日で上海へ行ってきました。前回2005年1月に吉川会員等と行ったのですが、とても寒かったため今回それほど暑いとは思いもせぬに行きましたところ、バスに設置されている外気温時計が32~39度で日差しも強烈、湿度もベッタリでとても体力を消耗していました。

中国はどこもそうですが、行くたびに開発が進み、今回の上海も5年前と比べ超高層のビルが随分と増えており、ニューヨークの摩天楼など全く問題にならない状況でした。

特に一昨年完成した上海ヒルズは492m、100階建で、474mの100階まで私は2,836,457番目に上がりました。東方明珠塔の先端が下に見える事には本当に驚いた次第です。ただ、この建物は日本の森ビルの所有ということで、何故かホッとした気がしました。

万博の方は、朝9時に行けばスムーズに入場できると言うことでしたが、予約のメインパビリオンに入場できたのは11時でした。灼熱、無風の中で並んでいる事はとても辛く、コンビニのコーラ等も生温く、ファーストフードも常に満席で立ち飲みをする始末でした。総面積が約5.6平方キロということで帯広で例えると、国道36号、大通、西15条、20丁目で囲ったくらいで、余りに広く80歳近いメンバーもいることから予定を早く切り上げてホテルに戻り、休憩の後ナイトクルーズに行きました。5年前にも素晴らしかったのですが、さらにライトアップが増え色彩もカラフルになり最高の夜景でした。

これから上海万博に行かれる方も多いと思いますが、1日40万人の入場者ということなので、できる限り予約をして時間に余裕を持って行かれるようお勧めします。

ロータリーミニ見に情報

帯広のRCの誕生は1935年3月15日に設立し、同年5月3日に国際ロータリー認証No3820として登録され、8月11日札幌RCをスポンサーに承認伝達式が開催されました。帯広市初代市長渡部守治を初代会長にチャーターメンバーは19人。日本RC設立順位は16番目であった。

■ゲスト紹介

後藤 裕弘 会長

RI第2500地区（代）分区ガバナー補佐 畠山 誠一様

■理事就任挨拶

梅安 雅満 クラブ奉仕委員会理事



入会22年で大役は初めての経験です。要となる6委員会を楽しく、友情と信頼を築き上げようという会長の方針に則り、皆様のご指導を頂きながら進めてゆこうと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。



田中 知徳 社会奉仕委員会理事

地域環境委員会、新世代委員会の大変優秀な両委員長とメンバーが居りますので、大船に乗った気持ちであります。就任をきっかけに、ご無沙汰をしておりま夜の社会奉仕に行きたいと思います。1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

片所 幸一 國際奉仕委員会理事

優秀な3人の委員長と共に頑張ります。讃岐地区委員長と渡邊副委員長と協力して進めて行きたいと思います。皆様にはただただお願いするばかりですが、苦情は全て私が引き受けますので、3委員長には伸び伸びとやっていたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

讃岐 武史 幹事

(1)帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 7月27日（火）午後6時30分

場 所 北の屋台

(2)帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 7月29日（木）午後6時30分

場 所 シャレーード

(3)帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 7月30日（金）午後6時30分

場 所 ジグザグ

*皆様に年会費のご案内を送らせて頂きましたので、宜しくお願い申し上げます。

■新会員紹介

工藤 大輔 会員増強委員長

堀江 威光 君紹介

推薦者 讃岐 武史 会員

■出席者報告

橋枝 篤志 出席委員会副委員長

7月21日例会の報告 会員総数94名（内免除会員8名）出席者数63名
7月7日例会のメークアップを含む出席数及び出席率71名75.5%

■ニコニコ献金

島田 哲男 親睦活動委員

堀江 威光 会員

本日入会いたします堀江 威光です。よろしくお願ひいたします。

讃岐 武史 会員

堀江威光さんを推薦させて頂きました。ご承認ありがとうございます。

佐藤 幸宏 職業奉仕委員長

野村 一仁 地域環境委員長

これから一年よろしくお願ひいたします。

■ご誕生日

松井 文一郎 会員

■次週プログラム予定

「新会員卓話」

プログラム委員会

吉川 昌之 会員・高見 英樹 会員



例会日／水曜日 12:30~13:30

例会会場／ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立／昭和10年3月15日 ●認証番号／3820

●戦後再開／昭和25年12月19日

事務局／帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行／クラブ広報

●委員長／倉野 賢

安岡美樹夫・池田 雄一・佐藤 有宏・宮坂 寿文

石原由美子・清田 幸孝・後藤 利之・高見 英樹

堀江 威光

●ホームページアドレス／<http://www.obihiro-rc.co.jp>

↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む事ができます。